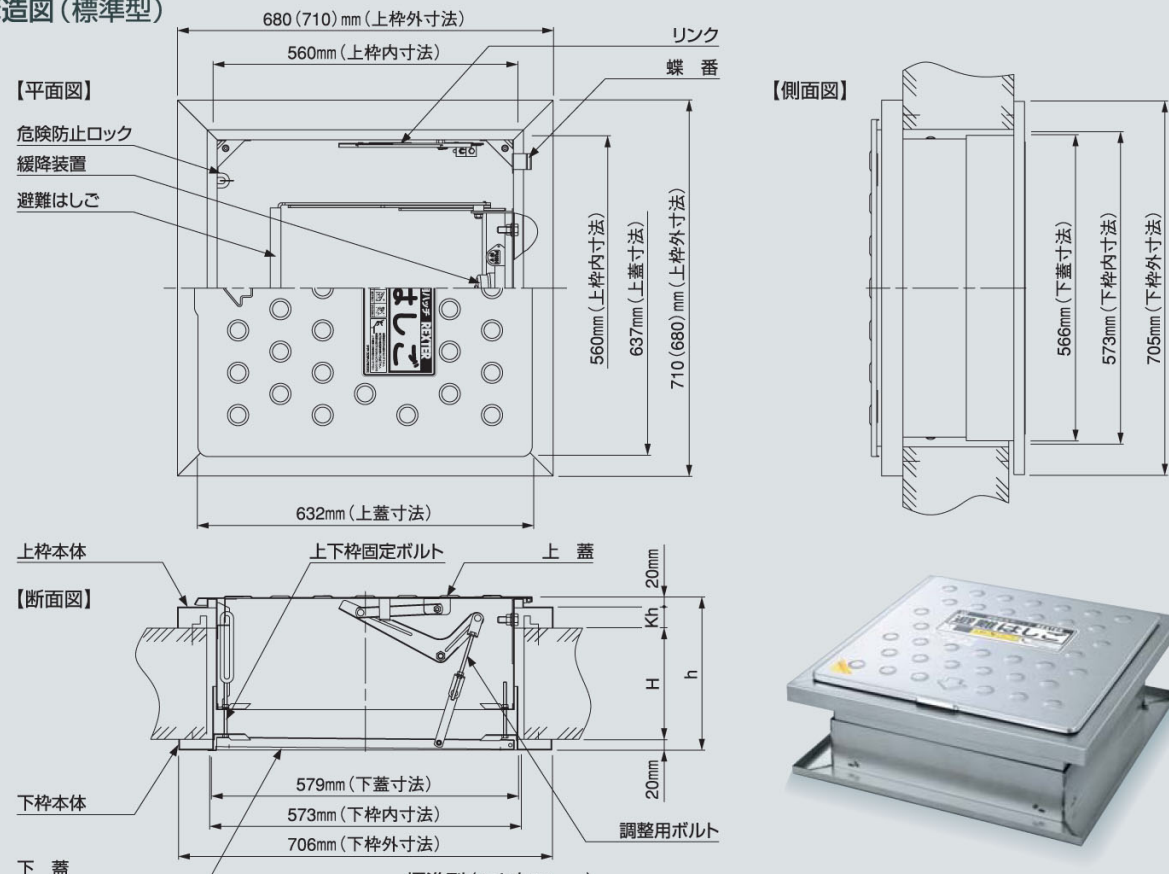


■構造図（標準型）



（注）
下記の床厚は下図に示した通りです。
ハッチの厚さと間違えないでください。



すべての防災設備使用上のご注意

⚠ 警告

死亡または重傷を負う可能性がある
状況を示します。

- 取扱説明書を十分理解するとともに正しい取扱いを厳守し、緊急時の使用に備えてください。緊急時に、消火活動や停止活動および避難活動等の対応が容易になります。
- 定期点検制度に基づき、有資格者（消防設備士および消防設備点検資格者）による定期点検が必要です。有資格者による定期点検を行わなかった場合は正常な機能維持できず、緊急時の消火活動、避難活動に支障をきたします。
- 防災設備を使用した場合は専門業者に依頼のうえ、点検・整備を受けてください。点検・整備を受けない場合は、緊急時に正常な消火活動、避難活動ができません。

標準型（かさ高40mm）

※印の数値は、RKC 680-40A [710-40A] のみ適用。それ以外は共通です。（mm）

枠（型名）	RKC 680-40 [710-40] / RKC 680-40A [710-40A]							
はしご（型名）	RKC-5X□	RKC-6X□	RKC-7X□	RKC-8X□	RKC-9X□	RKC-10X□	RKC-11X□	RKC-12X□
はしご全長	1,777	2,122	2,465	2,808	3,151	3,494	3,837	4,180
床厚（H）	165～250 / 150～230（※）							
内 寸	573×573							
上 枠 外 寸	680 [710]							
枠 厚（h）	245～330 / 230～310（※）							
かさ高（Kh）	40							
適 応 階 高	1,760～2,150	2,100～2,490	2,450～2,830	2,800～3,180	3,140～3,510	3,490～3,850	3,830～4,190	4,170～4,520

標準型（かさ高50mm）

（mm）

枠（型名）	RKC 680-50 [710-50]							
はしご（型名）	RKC-5X□	RKC-6X□	RKC-7X□	RKC-8X□	RKC-9X□	RKC-10X□	RKC-11X□	RKC-12X□
はしご全長	1,777	2,122	2,465	2,808	3,151	3,494	3,837	4,180
床厚（H）	165～250							
内 寸	573×573							
上 枠 外 寸	680 [710]							
枠 厚（h）	255～340							
かさ高（Kh）	50							
適 応 階 高	1,750～2,140	2,090～2,480	2,440～2,820	2,790～3,170	3,130～3,500	3,480～3,840	3,820～4,180	4,160～4,510

標準型（かさ高60mm）

（mm）

枠（型名）	RKC 680-60 [710-60]							
はしご（型名）	RKC-5X□	RKC-6X□	RKC-7X□	RKC-8X□	RKC-9X□	RKC-10X□	RKC-11X□	RKC-12X□
はしご全長	1,777	2,122	2,465	2,808	3,151	3,494	3,837	4,180
床厚（H）	165～250							
内 寸	573×573							
上 枠 外 寸	680 [710]							
枠 厚（h）	265～350							
かさ高（Kh）	60							
適 応 階 高	1,740～2,130	2,080～2,470	2,430～2,810	2,780～3,160	3,120～3,490	3,470～3,830	3,810～4,170	4,150～4,500

※RKC-5X□は受注生産品となります。

※このカタログは、再生紙を使用しています。

※仕様および外観は改良のため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。
※この商品写真は見本品です。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本 社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・尾道・四国・福岡・鹿児島／大阪工場・東京工場・中央研究所

05-028-1603.DAI



守りたい 守れる力
Wishing for Your Safety

改修用レクスターRKC

非常用避難口・改修用レクスター

REXTER® 改修用

ベランダの
“避難はしご”…
大丈夫ですか？



梯子
枠

総務大臣承認国家検定合格品

XEタイプ（5段～12段）は第25～5号

XFタイプ（5段～12段）は第25～4号

（社）全国避難設備工業会自主管理承認品

型式記号：RKCタイプ・認証番号：カh-37

ヤマトプロテック株式会社

簡単施工・工期短縮、改修用レクスター新登場。

総合防災メーカー・ヤマトプロテックがおすすめします。

ベランダ用避難はしごは「イザ! 避難!!」というときに確実に作動しなくてはならず、定期点検が大切です。

そして、定期点検の際に損傷や劣化が進んでいると判断されたときは、即座に補修や改修が必要です。

ヤマトプロテックの“非常用避難口・改修用レクスター”は、ベランダのコンクリートを解体する従来の工法ではなく、すでにある避難口の上蓋と下蓋をはずして改修用ハッチを取り付けるだけです。工事は簡単、作業時間も大幅に短縮できます。

■特長

●簡単施工で作業時間を短縮します。

ベランダを解体する工事はいらず、すでにあるハッチ上下の蓋を取り外して改修用ハッチを取り付けるだけです。作業時間を短縮して施工は簡単、工事コストも割安です。

●上下蓋は連動で開閉します。

独自の連動機構を開発し、採用しました。

●既存の避難ハッチの約80%に対応しています。

既存の避難ハッチに対応できるように、上枠外寸710mmと680mmの2種類をご用意いたしました。

●ステンレス製ですから耐食性に優れています。

ステンレススチール製で耐食性に優れ、安全性が向上して長持ちします。



●新たにチャイルドロック機構を追加しました。

子供の危険防止のために、標準装備。

●下蓋の調整をチェーン式からボルト式に変更。

より細やかな調整が可能です。

●緊急時に安心な簡単操作です。

上蓋と下蓋を開けてペダルを踏むだけの簡単操作。「イザ!」緊急時に戸惑わず素早く避難できます。

●下枠内寸のコンパクト化。

下枠の取り付けが簡単になりました。

●幅広い調整範囲。

150mm～250mmのコンクリート厚に取り付けることができます。



■標準型



■施工手順（標準型）

採寸作業

①対象既存避難ハッチ

（内寸:600mm角）

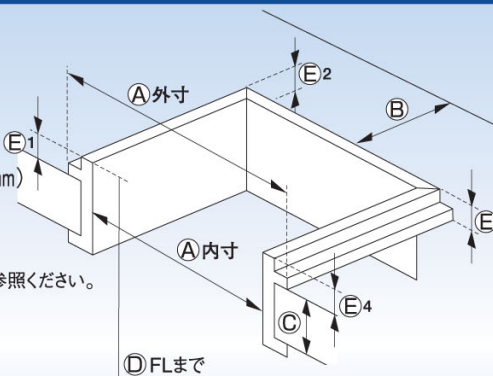
②壁までの距離（50mm以上）

③コンクリート厚さ（150～250mm）

④下階までの距離

⑤ ①～④のかさ高

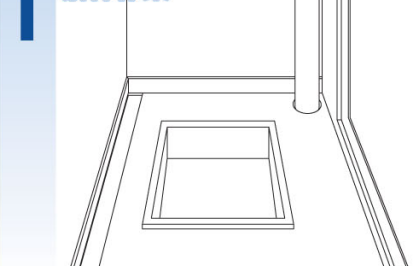
※詳細寸法は、構造図、採寸表を参照ください。



施行の事前打ち合わせ

●工事方法・手順や日程などを該当工事の上下階・左右居住者に確実に連絡し、トラブルの無いよう注意してください。

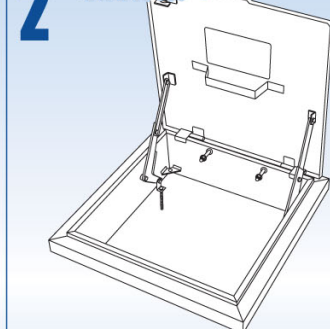
1・解体作業



●古くなったハッチの上下蓋・はしご・内部部品などを取り外します。

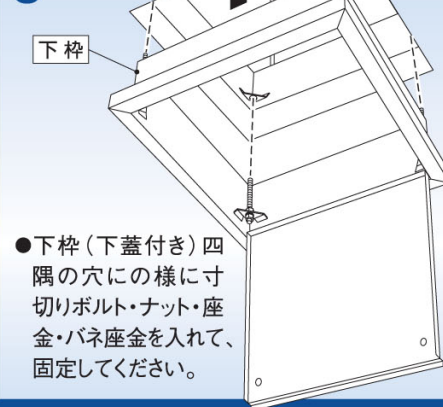
[注] 下階に解体部品、ゴミなどが落ちないように十分対策を講じてから作業を開始してください。

2・取付作業-1



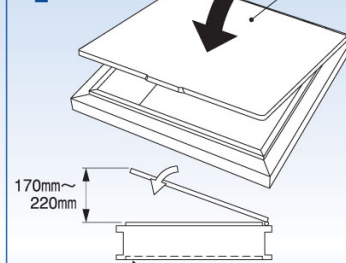
●上枠を差し込んでください。
[注] 取付方向（はしご取付側）を間違えないようにしてください。

3・取付作業-2



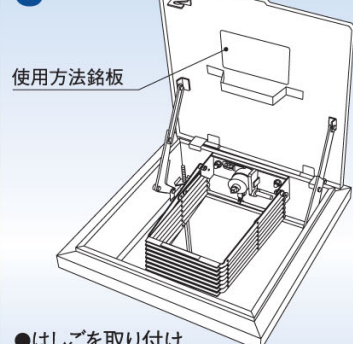
●下枠（下蓋付き）四隅の穴にの様に寸切りボルト・ナット・座金・バネ座金を入れて、固定してください。

4・取付作業-3



●上蓋を閉め、【上図】の様に170mm～220mmの隙間を残して下蓋が閉まるように調整してください。

5・取付作業-4



●はしごを取り付け、使用方法の銘板を貼ってください。

6・防水作業



●取り付けが終われば、上枠のまわりをコーキング剤で防水処理してください。
●最後に点検をして終了です。

※施工手順の詳細は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

●改修 Q&A

Q1 ベランダに、避難用のハッチがあるようですが、使える状態にあるのかどうかかわからず、「イザ!」というとき、不安なんです…?

A1 まず、メンテナンス（点検）をおすすめします。腐食して使用不能になっている避難口も多いようです。ヤマトプロテックは、専門的な知識や資格を持った消防設備士が点検にあたりますから安心してご相談ください。

Q2 点検の結果、使えないことが分かったときは、どうすればいいのですか…?

A2 早急に改修工事をするをおすすめします。改修用避難口は、上下からハッチをはさみ込むだけで大がかりな工事の必要はなく、簡単なうえ短時間で取り替えることができます。ぜひ、ご利用ください。

Q3 注文から施工までの流れは、どうなっていますか…?

A3 まず現場にお伺いして既存ハッチの寸法をとり、工事日や予算など詳しいことを説明させていただきます。打ち合わせのあと、決められた日にお伺いして工事をする…という流れになります。

Q4 入居されている方の迷惑にならないでしょうか…?

A4 入居されている方の了解を得てから工事をします。それに、作業は簡単で短時間です。ベランダでの作業ということを考え、当然、入居されている方のプライバシーに十分配慮して作業をします。ご安心ください。

■採寸作業風景



ハッチの腐食が進むと下階への漏水が顕著になり、さらにひどくなると、屋内へ漏水することもあります。
(写真は、設置後約20年経過のハッチです)

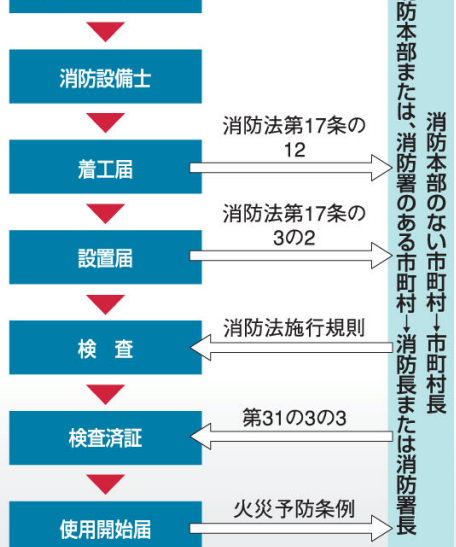


自主管理承認証票

■設置について

消防法第17条の12の規定により、非常用避難口「レクスター」の設置工事は、工事に従事する消防設備士が消防機関に着工届を提出し、事前に適切な指導を受ける必要があります。

消防用設備等設置計画



■ラベル

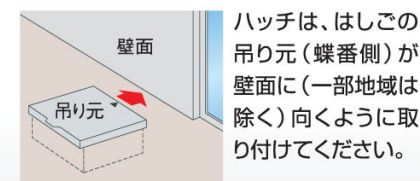
施工終了時にラベルAを上蓋表面に、ラベルBを上蓋内側に貼ってください。



●避難はしごラベルA（上蓋表面貼付用）



●使用ラベルB（上蓋内面貼付用）



所轄の消防により取付方向が異なる場合がありますので、よく確認してください。